

MONTHLY SUPPORTER

あなたの月々のご支援が、 持続可能な佐賀の未来を創ります

佐賀県では、様々なCSOが、行政サービスでは対応できない地域課題に立ち向かい、県内の資源「ヒト・モノ・カネ・ジョウホウ」の循環型で持続可能な社会の確立に向けて活躍しています。彼らの活動を支援し、どんな境遇の人たちも取り残さない社会にするために、ご協力いただける「マンスリーサポーター」を募集しています。

ご寄付は、下記の取り組み等の推進の為に
活用させていただきます



さが・こども未来応援
プロジェクト



エリアマネジメント



佐賀災害支援
プラットフォーム



事業評価導入支援研修

マンスリーサポーターになる

月額1,000円よりご支援をお願いいたします。
銀行振込・クレジット決済での寄付のお手続きがオンラインでできる、寄付決済ページをご準備しております。
下記の寄付決済ページにて、「支援の種類」から「基金応援寄付(さがつくサポーター)(毎月)」を選択いただき、手続きを進めてください。

寄付決済ページアドレス

<https://goo.gl/7UdtXv>

スマホの方はバーコード
をスキャンしてください⇒



マンスリーサポーター及びご寄付についてご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

【SDGsとは】
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

公益財団法人 佐賀未来創造基金

(愛称:さがつく)

〒840-0813

佐賀市唐人二丁目5番25号

TEL 0952-26-2228 FAX 0952-43-7047

URL: <https://saga-mirai.jp/>

あなたの志金が
よりよい佐賀の
未来を創ります

2022

ANNUAL REPORT | 令和4年度 年次報告書

<2022年4月1日 ~ 2023年3月31日>



公益財団法人
佐賀未来創造基金

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



佐賀の未来を一緒に創る

～ご縁をカタチに! 地域資源循環型社会へのチャレンジ～

公益財団法人 佐賀未来創造基金

代表理事 **山田 健一郎**

みなさま今日は。佐賀未来創造基金(略称/さがつく)代表の山田健一郎です。

さがつくはこのたび創立10周年を迎えることが出来ました。これも支援者の皆様をはじめ、CSO※・行政・各種団体や企業の方々に支えられてのことと、心より感謝申し上げます。コロナ禍が去り以前の日常風景を思い出しながら、全く同じには戻れないなと感じている毎日ですが、CSOの皆さんもそんな思いで再起動されているのではないのでしょうか。過去の積み上げの上に私たちは生きており、コロナ禍以前の日常生活の当たり前がなくなる怖さや、痛み、苦しみ、人とのつながり、温もりの暖かさや大切さが改めて心と身体に刻まれたのではないのでしょうか。

「災害対応や防災減災」「子ども支援」「まちづくりやコミュニティ支援」など、さまざまな地域課題や新しい価値、そして担

い手や活動に向き合いながら市民活動やソーシャルビジネスの価値を一緒に創っていければと考えています。

どのような自分でありたいか、どのような地域でありたいか。自分自身やコミュニティ財団として何ができるのかを改めて皆で考え一緒に創っていければと思っています。自分らしい生き方、暮らし方、働き方など自分自身を見つめ直し、自然体で豊かに生きることができる「丁度良い地域」であることを願って活動を推進したいと思います。

アニュアルレポートを今年も無事に発刊する事が出来ました。

変わること、変わらずあり続けることを大切に皆で進んで行ければと思っています。

これからも何卒よろしくお願いいたします。

※CSOとは、Civil Society Organizations(市民社会組織)の略です。佐賀県ではNPO法人、市民活動・ボランティア団体に限らず、自治会・町内会、婦人会、老人会、PTAといった組織・団体も含めて「CSO」と呼称しています。

CONTENTS

03 CSOへの支援活動

04 冠寄付プログラムによる助成

06 分野指定寄付プロジェクトによる助成

07 寄付文化の普及啓発事業

08 遺贈寄付による助成事業

09 助成実績

10 2022年度の会計報告

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT **GOALS**

社会的課題の解決や、
新しい価値の創造のための事業を行う
市民社会組織(CSO)への伴走支援事業を行っています。



■ 佐賀県誘致CSO支援

佐賀県では、様々な分野でトップランナーとして活躍している県外のCSOを誘致することにより、人材の流入や雇用を生み出すとともに、誘致CSOとの交流やノウハウの提供等を通じて、県内CSOのスキルアップや、さらなる地域課題の解決につなげることを目的に「**地域活性化のための県外CSO誘致事業**」を実施しています。

誘致にあたっては「佐賀県」「誘致CSO」「佐賀未来創造基金」が3者で進出協定を締結し、県内での活動や生活のための支援、県内CSOや関係者等の紹介、県内CSOとの交流機会の提供など、誘致CSOに対し、しっかりとサポートしています。

■ 子ども第三の居場所 運営支援

「佐賀県」「日本財団」「佐賀未来創造基金」の3者で協定を結び実施中の「子ども第三の居場所コミュニティモデル運営事業」に参加している4運営団体の担当者に対して、ファンドレイジング・ラボの徳永洋子代表を講師に招き「ファンドレイジング研修会」を開催しました。



子ども第三の居場所 運営支援事業 特設ページ
https://saga-mirai.jp/codomo_third_place/



■ 休眠預金事業 通常枠(人口減少と社会包摂型コレクティブインパクト事業)

休眠預金事業の実行4団体(NPO法人唐津環境防災推進機構KANN E、(一社)おもやい、NPO法人空家・空地活用サポートSAGA、(一社)基山こどもねっと)を対象に、事業開始から3か年に亘る伴走支援を行いました。

休眠預金事業 特設ページ
<https://saga-mirai.jp/休眠預金事業/>



休眠預金活用とは

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づき、金融機関の口座で10年以上出し入れが確認できない休眠預金を、民間公益活動の促進のために活用する制度が2019年度から始まりました。当財団はこの制度の中で「資金分配団体」に選定され、民間公益活動を行う「実行団体」に資金助成と伴走支援を行っています。



荏原環境プラント「第5回 e-さが基金」

荏原環境プラント株式会社様からのご寄付で、佐賀市内で環境保護・改善活動を行う9事業に助成したほか、「佐賀市ごみ発電地産地消学習支援プログラム」を本年度は佐賀市立思斉小学校、4年生2クラス計80名を対象に実施しました。また、佐賀市の「佐賀城下栄の国まつり」では佐賀市中心商店街で「ごみダイエット大作戦2022」を展開しました。



助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
<チャレンジ事業>		
① NPO法人元気・勇気・活気の会	外来種防除・駆除及び環境教育事業	486,000
② NPO法人嘉瀬川交流軸	森林の持つ機能を学び、水環境改善に活かす事業	500,000
③ 日本野鳥の会佐賀県支部	コアジサシ営巣地の保護・保全 継続	350,000
④ 浅海干潟環境学lab	東よか干潟の環境教育プログラムの構築	500,000
<モデル事業>		
⑤ NPO法人SATOMORI	環境保全と自然体験機会の活用並びに人材育成	700,000
⑥ さが山の学校	さが山の学校事業	820,000
⑦ さが平野の水辺を守る会	佐賀の絶滅危惧種ミズアオイを復活させたい	500,000
⑧ NPO法人元気・勇気・活気の会	有機物の堆肥化及びアースラップ母材の作り方・家庭でできる生ごみ処理	460,000
<ネットワークづくり事業>		
⑨ NPO法人温暖化防止ネット	ゼロカーボンアクション取組事例紹介	2,000,000
<直轄事業>		
⑩ (一財)日本環境衛生センター	佐賀市ごみ発電の地産地消学習支援プログラム	911,900

■ 令和4年度「佐賀市ごみ発電地産地消学習支援プログラム」(荏原環境プラント 第5回e-さが基金による)



荏原環境プラント(株)新電力事業課、佐賀市環境部循環型社会推進課3R推進係、(一財)日本環境推進センター、佐賀大学佐賀環境フォーラム環境教育班えこいく、佐賀未来創造基金の協働にて実施しました。

あらかじめ佐賀市清掃工場を見学し「ごみ発電」による電力が市内の小中学校に供給されていることを学んだ児童を対象に、「ごみ発電の電気のしくみ体験ゲーム」を実施し、家庭でできる3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取組みが、可燃ごみ処理・ごみ発電の安定性に関連があることを理解してもらい、適切な分別行為によって地域エネルギーの安定供給に協力できることを理解してもらいました。本年度は佐賀市立思斉小学校の4年生計80名に行いました。

■ ごみダイエット大作戦2022 (荏原環境プラント 第5回e-さが基金による)

「佐賀城下栄の国まつり」 令和4年8月6日(土)、8月7日(日) 15:00~23:00
会場の唐人町エリアに本部、エコステーション(4ヶ所)、ごみ集積場を設置し、祭りの来場者に向けて分別の呼び掛けと、エコステーションでは可燃物・プラスチックごみ・ペットボトル・缶・ビンの分別収集を行いました。また、あらかじめFACEBOOK・メルマガ、電話等で募集したボランティアは延べ115名の参加がありました。
新聞紙で創ったエコバック900個の配布も好評で、例年を越える24万人の来場者があったにも関わらず、お祭り終了時目立った「ポイ捨てごみ」の散乱などはありませんでした。



2022年度の活動報告 | 冠寄付プログラムによる助成



第5回 GOGOさがスポ基金による助成

「Gogoさがスポ基金」は2024年に佐賀県内で開かれる国民スポーツ大会(国スポ)と全国障害者スポーツ大会(全障スポ)を応援する佐賀新聞社のキャンペーン企画の一環で、2018年に創設されました。助成金はそれぞれ、強化費や機材の購入費に充てられました。



助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
① 佐賀ジュニアスキーチーム	佐賀ジュニアスキーチームの活動強化	128,000
② (一社)佐賀県フェンシング協会	検査用機器購入・整備・点検によるサポート	144,000
③ Popcandy 新体操クラブ	県外遠征試合による強化事業	123,000
④ 西与賀ジュニアバレーボールクラブ	西与賀スポーツクラブの立上げ	105,000

2022年度 伝統工芸助成

本年度も当財団と「NPO法人ピースウインズ・ジャパン(以下「PWJ」)」の協働事業で実施しました。PWJは佐賀県では伝統工芸の支援活動として「ピースクラフツSAGA」プロジェクトに取り組み、ニーズ調査、商品開発、助成事業、情報発信などの活動を行っています。今年度も佐賀県内の伝統工芸事業者に対し新製品開発、窯の修理、補修などに助成し、審査委員の方々と2回の現地見学を行いました。



助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
① 閑古窯(武雄市)	電気窯の補修・棚板のクリーニング	500,000
② 康雲窯(武雄市)	灯油窯の設置導入	500,000
③ 副島硝子工業(佐賀市)	新製品開発 光彩硝子の更なる改良・改善	500,000
④ 名尾手すき和紙(佐賀市)	簾桁(すげた/紙漉き道具)製作	500,000
⑤ 鍋島虎仙窯(伊万里市)	窯の補修	500,000
⑥ 廣田昇治(有田町)	薪窯の修復と焼成	500,000
⑦ 文山製陶(有田市)	新商品開発	500,000

現地見学の様子



原田昇治窯



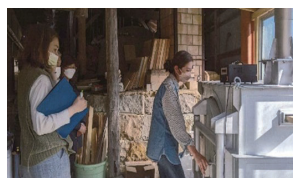
肥前名尾和紙



虎仙窯



副島硝子工業



康雲窯



閑古窯



文山窯

2022年度の活動報告 | 分野指定寄付プロジェクトによる助成



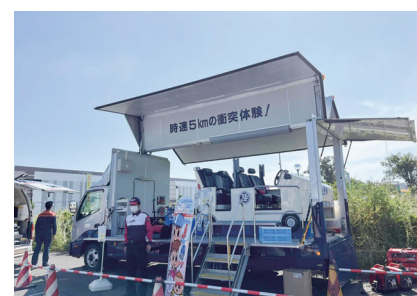
ジュニアシート寄贈プログラム

佐賀県は人口10万人あたりの人身事故発生件数が2012年から2016年まで5年連続ワースト(2014年には人口10万人あたりの交通事故者もワースト)でした。さらに、日本自動車連盟(JAF)・警察庁合同のチャイルドシート使用全国調査(2019年)の結果では、佐賀県の6歳未満全体のチャイルドシート使用率が55.2%と全国平均(70.5%)を大きく下回っています。

このような状況を踏まえ、佐賀県では県民一人ひとりが「交通事故ゼロ」を自らの課題として認識し、デザインのチカラによって、自らの行動変容を促す交通安全意識改革・運動として「SAGA BLUE PROJECT」に取り組んでおり、改善の兆候が表れはじめています。私たちはこの事実注目し現状を訴えかけて、佐賀の子

もたちにジュニアシートを贈るとともに、このような現状を知ってもらうことで、更なる意識の向上に繋げていきたいと思い、当財団とJAFとで、クラウドファンディングによる募金活動を行いました。集まった募金でチャイルドシートメーカー4社の協力を得て、114台を助成することができました。

■ さがっこミライふえすた140



提供イベントを2022年10月1、2日の両日、イオンモール佐賀大和店の駐車場で実施し、厳正な審査で選ばれた家庭の車に、JAFのインストラクターが「鎖骨と骨盤をシートベルトで固定するように」とアドバイスしながら取付を行いました。

トピックス

本年2月 佐賀県より「佐賀県政史1976～2019」が発刊されました。(A4版 1,714頁)
第7章 県民・環境【第1節】県民協働
1 県民協働 ～黎明期～
2 新しい公共 ～更なる飛躍～
に佐賀未来創造基金として、当財団設立からの活動状況が掲載されています。



➡「佐賀県政史1976-2019」は、電子書籍で公開されています。

佐賀県公文書館WEBサイトにて、閲覧可能です。(令和5年10月現在)



本編Ⅰ



本編Ⅱ



資料編

2022年度の活動報告 | 分野指定寄付プロジェクトによる助成



入学応援給付金プログラム

今年度も、ふるさとチョイスGCF(ガバメントクラウドファンディング)「進学を諦めない!ふるさと納税『入学応援給付金』プロジェクト2022」にて助成のための寄付集めを行いました。

GCFにて集まった寄付金をもとに、2023年度 高等学校等に入学を迎える中学3年生を対象に、入学に伴う経済的負担軽減のための、返済不要の給付金を支給する「入学応援給付金プログラム」実施しました。

今年度は53名の方に、5,300,000円を助成することができました。これまでの助成実績は次のとおりです。

助成プログラム	2022年度	5,300,000円	53名
	2021年度	5,500,000円	55名
	2020年度	6,000,000円	30名
	2019年度	6,578,000円	43名
	合 計	23,378,000円	181名



入学応援給付金プロジェクト(さがっこ基金)特設ページ
https://saga-mirai.jp/2021/09/27/ouen_kyufukin/

■ 入学応援給付金の対象者

佐賀県内に住所を有する中学3年生で、高等学校等に進学を希望しており、次の①～③のいずれかに該当する方としています。

- 1 住民税非課税世帯
- 2 生活保護受給世帯
- 3 新型コロナウイルスの影響により経済的に困難な状況にある世帯

2022年度の活動報告 | 寄付文化の普及啓発事業

■ 佐賀の未来につながるCSO交流会

2022年11月22日、グランデはがくれ(佐賀市)にて、「佐賀の未来につながるCSO交流会」を開催しました。CSOや企業、行政など約70名の参加があり、意見交換や情報収集を通じてつながりを深めることができました。「佐賀の未来を見据えた“つながり”」をテーマにしたトークセッションでは、佐賀県に根付き顕著な業績を挙げているCSOによる活動内容や今後の取組みについて発表がありました。また「ピッチタイム」によるCSOの活動報告や、CSO、企業、行政の歓談・交流の場ではお互いの活動への理解や、懇親を深めることが出来ました。



■ さがつくAWARD2022

2023年2月17日、ザ・ゼニス(佐賀市)にて、財団創設10周年記念事業として「さがつくAWARD2022」を開催しました。3年ぶりとなる実地開催(コロナ対策/定員50名・ハイブリッド開催)を行うことができ、日ごろお世話になっている方々への感謝と交流の場とすることが出来ました。



2022年度の活動報告 | 遺贈寄付による助成事業

当財団は2017年から全国レガシーギフト協会に加盟し「いぞう寄付の窓口」を担っています。人生の集大成のひとつとしての社会貢献である「遺贈寄付」の推進に取り組んでいます。



■ 佐賀県遺贈寄付活用相談センター

<https://saga-mirai.jp/?p=769>



「いぞう寄付の窓口」での主な取り組み

- ➡ 想いを実現できる最適な寄付先の情報提供
- ➡ 遺贈寄付にまつわる様々な質問への対応
- ➡ 弁護士などの遺贈寄付に習熟した専門家の紹介
- ➡ 専門家・NPO等の研修
- ➡ 遺贈寄付についての普及啓発など

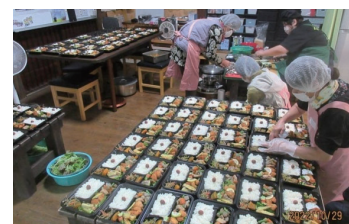
■ 司法書士法人 州都綜合法務事務所との業務提携

本年度は業務拡大の為此分野で豊富な実績をもつ、司法書士法人州都綜合法務事務所と業務提携契約を行い、その記事が佐賀新聞に掲載されました。



■ 鹿島レガシー基金 / 民間の防災拠点「傍楽庵」

「自分が亡くなったら、地域のために役立ててほしい」と、昨年4月に亡くなられた中島鈴子さん(鹿島市)から、鹿島市社会福祉協議会を通じて当財団に住居を含む遺産が託されました。市社協、ボランティア団体「DIWA」「かしま防災サポーターズクラブ」と連携し、民間の防災拠点「傍楽庵」(はたらくあん)として整備、平時には地域の人が集う場やこども食堂としても活用されています。



住居と共に残された遺産で「鹿島レガシー基金」を設立し、助成団体の公募を行いました。

「地域のために」遺志つなぐ 故中島鈴子さんが遺贈寄付

傍楽庵で開催した、鹿島レガシー基金の贈呈式の様子が、佐賀新聞に取り上げられました。



2022年度の助成実績

◆ 冠寄付による助成実績

荏原環境プラント「e-さが基金」

助成団体名	助成金額(円)
第5回 助成団体一覧は4ページに記載	7,227,900

(株)佐賀新聞社 第5回「GOgoさがスポ基金」プログラム

助成団体名	助成金額(円)
助成団体一覧は5ページに記載	500,000

◆ 分野指定寄付による助成実績

ジュニアシート寄贈プログラム

助成団体名	助成金額(円)
詳細は6ページに記載	788,040

入学応援給付金プログラム

助成団体名	助成金額(円)
詳細は7ページに記載	5,300,000

◆ 休眠預金による助成

草の根活動支援助成事業

助成金額(円)	9,773,848
助成実績一覧は、佐賀未来創造基金のWEBサイトでご確認いただけます。 https://saga-mirai.jp/?p=2445	

NPO法人ピースウィンズジャパン 2022伝統工芸助成

助成団体名	助成金額(円)
助成団体一覧は5ページに記載	3,500,000

さが・こども未来応援基金

助成金額(円)	567,000
助成実績一覧は、佐賀未来創造基金のWEBサイトでご確認いただけます。 https://saga-mirai.jp/?p=15512	

◆ 日本財団2022年度「子ども第三の居場所」事業

佐賀県における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営

助成団体名	助成金額(円)
① NPO法人空家・空地活用サポートSAGA(佐賀市)	7,200,000
② (一社)キラキラヒカル(唐津市)	6,270,324
③ (一社)かがみこどもプラザ(唐津市)	7,190,300
④ (一社)ここてらす(基山町)	7,191,100
合計	27,851,724

◆ 事業指定寄付・その他による助成

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
① サガン鳥栖サポーター支援の会(鳥栖市)	サッカーJ1サガン鳥栖を応援する事業	1,730,000
② NPO法人空家・空地活用サポートSAGA(佐賀市)	令和4年度CSO未来への一歩応援事業	300,000
③ 赤松まちづくり協議会(佐賀市)	令和4年度CSO未来への一歩応援事業	300,000
④ NPO法人灯す屋((有田町)	令和4年度CSO未来への一歩応援事業	300,000
⑤ (一社)おもやい(武雄市)	令和4年度CSO未来への一歩応援事業	300,000
⑥ (一社)キラキラヒカル(唐津市)	令和4年度CSO未来への一歩応援事業	300,000
⑦ (一社)おもやい(武雄市)	おもやい協働基金～安心して住み続けられる地域へ～事業	1,000,000
⑧ 基山フューチャーセンターラボ(基山町)	新型コロナ対策事業基山町エリア	50,000
⑨ NPO法人ようこそ小城(小城市)	新型コロナ対策事業小城市エリア	61,733
⑩ みないろ会(佐賀市)	バリアフリー映画上映事業	21,393
⑪ NPO法人鳥栖市民ネットワーク(鳥栖市)	市民活動団体支援事業	2,736
合計		2,808,862

2022年度の会計報告

正味財産増減計算書 (単位:円)

(1)経常収益	
基本財産運用益	60
基本財産受取利息	60
特定資産運用益	310
特定資産受取利息	310
寄付金振替額	38,770,538
事業指定寄付振替額(ふるさと納税・応援寄付振替含む)	2,860,612
分野指定寄付振替額(ふるさと納税・応援寄付振替含む)	13,005,677
冠寄付振替額	11,258,900
基金応援寄付振替額(事業指定・民間助成金振替含まず)	4,184,987
ふるさと納税寄付振替額(事業指定・分野指定寄付振替含まず)	7,460,362
事業収益	6,428,000
受託事業	6,428,000
その他の事業収入	0
受取補助金等	61,502,218
民間助成金振替額	61,502,218
雑収入	120,764
受取利息	148
雑収入	120,616
経常収益 計	106,821,890
(2)経常費用	
事業費	103,218,660
①社会的課題解決及び新しい価値の創造のための事業を行う市民社会組織、企業及び個人並びに日常生活又は社会生活を営む上で困難を有する者の支援に必要な資金等の資源を募り、確保する事業	2,299,530
②CSO、企業等及び社会的弱者に対する助成、顕彰、報奨、融資、債務保証及びその他必要な資源を提供する事業	21,944,890
③社会的課題解決及び新しい価値の創造のために、地域の動産、不動産などの資源の利活用及び運用に関する相談、コンサルティング事業	1,535,547
④CSO、企業等の組織基盤強化のための人材及び組織の育成事業	2,511,342
⑤CSO、企業等、社会的弱者及び資源提供者に対する相談、コンサルティング事業	1,536,127
⑥社会的課題解決及び新しい価値の創造に関する普及啓発及びセミナー事業	4,546,800
⑦社会的課題解決及び新しい価値の創造に関する調査研究及び情報発信事業	1,907,201
⑧社会的課題解決及び新しい価値の創造のための県内外の各関係支援機関との連絡調整及びネットワーク構築並びにこのネットワークを活用したコレクティブインパクト事業	9,960,387
⑨CSO、企業等及び社会的弱者の支援に関する受託事業及び補助事業	56,976,836
管理費 法人の管理運営に係わる経費	4,629,123
経常費用 計	107,847,783
当期経常増減額	-1,025,893

貸借対照表 (単位:円)

(1)資 産	(2)負 債
流動資産	流動負債
現金	未払金
預金	短期借入金
未収金	未払消費税
立替金	預り金
固定資産	仮受金
①基本財産(県民の皆様からの寄付による設立時資産)	固定負債
②特定資産(寄付受入預金)	長期借入金
寄付受入預金	負債合計
助成金受入預金	
建物	(3)正味財産の部
③その他の固定資産	指定正味財産
器具備品	一般正味財産
資産合計	正味財産合計
	負債及び正味財産合計